

令和 7 年度

業務番号 経農林委第 3 8 号

曲沼橋橋梁補修設計業務委託

設 計 書

つ が る 市

費 目	工 種	種 別	細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	橋梁調査業務			1.00	式			橋梁調査内訳表
	設計業務			1.00	式			設計内訳表
合計								
消費税相当額				10.00	%			
業務価格計								

費 目	工 種	種 別	細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
橋梁調査業務								
	コンクリートコア採取			1.00	式			
		原位置試験 鉄筋探査		1.00	日			
		コンクリートコア採取 φ 50		2.00	本			
	室内試験			1.00	式			
		コンクリート塩分含有量試験 5スライス標準、スライス厚2cm		1.00	本			
		中性化試験(割裂) フェノールフタレイン法		1.00	本			
直接調査費計								
	準備費			1.00	式			
		コア採取準備		1.00	業務			
		コア採取孔復旧		1.00	式			
			労務費 普通作業員	2.00	人			
			コア採取復旧材 急硬結材セメント	20.00	kg			
	旅費交通費			1.00	式			

[illegible]

費 目	工 種	種 別	細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
設計業務								
	橋梁補修設計			1.00	式			
		現地調査(劣化損傷図作成含む) 橋長 L=22.8m		1.00	橋			設計明細書 p. 1
		床版防水補修設計 橋長 L=22.8m		1.00	橋			設計明細書 p. 2
		伸縮装置補修設計 N=1径間		1.00	橋			設計明細書 p. 3
		防護柵補修設計		1.00	橋			設計明細書 p. 4
		排水装置補修設計		1.00	橋			設計明細書 p. 5
		主桁表面処理設計 橋長 L=22.8m		1.00	橋			設計明細書 p. 6
		下部工補修設計 N=1径間		1.00	橋			設計明細書 p. 7
		施工計画		1.00	橋			設計明細書 p. 8
	協議打合せ			1.00	式			
		協議打合せ 3回		1.00	業務			設計明細書 p. 9
直接人件費計								①
	電子成果品作成費			1.00	式			

現地調査							
職 種 区 分		直 接 人 件 費					小 計
		技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	
現地調査			1.00	1.00	1.00	1.00	
劣化損傷図作成					3.00	4.00	
調査結果とりまとめ				0.50	0.50	0.50	
合 計			1.00	1.50	4.50	5.50	
直接人件費合計							
・標準歩掛は対象橋長 L = 7.5 mとし、他の橋長については橋梁予備設計の補正を適用する。							
対象橋長		25m以下の場合		300m未満の場合		300m以上の場合	
補正係数(%)		57.40		0.853×L+36.025		0.082×L+267.325	
				橋長(m)	径間数	補正係数	補正後の単価
				22.8	1.0	0.574	

床版防水補修設計							
							1橋当り
区 分 \ 職 種	直 接 人 件 費						小 計
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員	
設計計画				0.50			
設計図				1.00	1.00		
数量計算					1.00		
照査				0.50	0.50		
報告書作成				1.00			
合 計				3.00	2.50		
直接人件費合計							
<div>・ 床版下面への漏水により上部工の劣化要因になっている場合に計上する。</div> <div>・ 標準歩掛は対象橋長 L = 7.5 mとし、他の橋長については橋梁予備設計の補正を適用する。</div>							
対象橋長		25m以下の場合		300m未満の場合		300m以上の場合	
補正係数 (%)		57.40		0.853×L+36.025		0.082×L+267.325	
				橋長 (m)		補正係数	
				22.8		0.574	
						補正後の単価	

伸縮装置補修設計																																			
[取替え、止水板設置]							1橋当り																												
区 分	職 種	直 接 人 件 費					小 計																												
		技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)		技 術 員																											
設計計画					0.50																														
設計図						0.50	1.50																												
数量計算						0.50	1.00																												
照査					0.50	0.50																													
報告書作成					1.00																														
合 計					2.00	1.50	2.50																												
直接人件費合計																																			
<div>・標準歩掛は3径間とし、他の径間については橋梁詳細設計（橋梁上部工）の補正を適用する。 ただし、1径間の場合は2径間の補正に準ずる。</div> <table><tr><td>1 径間</td><td>0.90</td><td>8 径間</td><td>1.35</td></tr><tr><td>2 径間</td><td>0.90</td><td>9 径間</td><td>1.40</td></tr><tr><td>3 径間</td><td>1.00</td><td>1 0 径間</td><td>1.45</td></tr><tr><td>4 径間</td><td>1.05</td><td>1 1 径間</td><td>1.50</td></tr><tr><td>5 径間</td><td>1.20</td><td>1 2 径間</td><td>1.55</td></tr><tr><td>6 径間</td><td>1.25</td><td>1 3 径間</td><td>1.60</td></tr><tr><td>7 径間</td><td>1.30</td><td>1 4 径間</td><td>1.65</td></tr></table> <div>・伸縮装置部からの漏水、土砂堆積及び段差がみられ取替えが必要な場合に計上する。</div>								1 径間	0.90	8 径間	1.35	2 径間	0.90	9 径間	1.40	3 径間	1.00	1 0 径間	1.45	4 径間	1.05	1 1 径間	1.50	5 径間	1.20	1 2 径間	1.55	6 径間	1.25	1 3 径間	1.60	7 径間	1.30	1 4 径間	1.65
1 径間	0.90	8 径間	1.35																																
2 径間	0.90	9 径間	1.40																																
3 径間	1.00	1 0 径間	1.45																																
4 径間	1.05	1 1 径間	1.50																																
5 径間	1.20	1 2 径間	1.55																																
6 径間	1.25	1 3 径間	1.60																																
7 径間	1.30	1 4 径間	1.65																																
				<table><tr><td>径間数</td><td>補正係数</td><td>補正後の単価</td></tr><tr><td>1.0</td><td>0.90</td><td></td></tr></table>				径間数	補正係数	補正後の単価	1.0	0.90																							
径間数	補正係数	補正後の単価																																	
1.0	0.90																																		

防護柵補修設計

[再塗装、取替え、地覆打替え等]

1橋当り

職 種 区 分	直 接 人 件 費						小 計
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員	
設計計画				0.50			
設計図					1.00	1.50	
数量計算					0.50	1.50	
照査				0.50	0.50		
報告書作成				0.50			
合 計				1.50	2.00	3.00	
直接人件費合計							

- ・防護柵・高欄部の錆・腐食・損傷により、再塗装及び取替えが必要な場合に計上する。
- ・防護柵・地覆の構造変更に伴い上部工（床版含む）の設計計算が必要な場合は別途計上とする。

排水装置補修設計

1橋当り

区 分	職 種	直 接 人 件 費					小 計
		技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員
設計計画				0.60			
設計図					0.60	0.60	0.60
数量計算						1.00	
照査					0.60	0.50	
報告書作成					0.60		
合 計				0.60	1.80	2.10	0.60
直接人件費合計							

- ・ 橋面排水の不良や排水管の劣化がみられる場合に計上する。
- ・ 橋長による補正は行わない。

主桁表面処理設計															
[再塗装（鋼橋）及び保護塗装（コンクリート橋）]							1橋当り								
区 分	職 種	直 接 人 件 費					小 計								
		技 師 長	主 任 技 師	技 師（ A ）	技 師（ B ）	技 師（ C ）		技 術 員							
設計計画					0.50										
設計図						1.00	1.50								
数量計算						1.00	1.00								
照査					1.00	1.50									
報告書作成					0.50										
合 計					2.00	3.50	2.50								
直接人件費合計															
<div>・再塗装またはひび割れ保護が必要な場合に計上する。</div> <div>・標準歩掛は対象橋長 L = 7 5 mとし、他の橋長については橋梁予備設計の補正を適用する。</div> <table><tr><td>対象橋長</td><td>25m以下の場合</td><td>300m未満の場合</td><td>300m以上の場合</td></tr><tr><td>補正係数(%)</td><td>57.40</td><td>0.853×L+36.025</td><td>0.082×L+267.325</td></tr></table> <div>・鈑桁で、かつ曲線橋などの複雑な場合は2割増しとする。(+20%)</div> <div>・追加で床版表面処理までを行う場合は2割増しとする。(+20%)</div> <div>・床版表面処理のみを行う場合は、上記歩掛りの5割を計上する。(×50%)</div>								対象橋長	25m以下の場合	300m未満の場合	300m以上の場合	補正係数(%)	57.40	0.853×L+36.025	0.082×L+267.325
対象橋長	25m以下の場合	300m未満の場合	300m以上の場合												
補正係数(%)	57.40	0.853×L+36.025	0.082×L+267.325												
				橋長(m)	補正係数	補正後の単価									
				22.8	0.574										
					× 1.20 =										

下部工補修設計																															
[設計計算を必要としない場合]							1橋当り																								
区 分 \ 職 種	直 接 人 件 費						小 計																								
	技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員																									
設計計画				0.50																											
設計図					1.50	1.50																									
数量計算					0.50	1.00																									
照査				0.80	0.50																										
報告書作成				0.50																											
合 計				1.80	2.50	2.50																									
直接人件費合計																															
<div>・標準歩掛は3径間とし、それ以外については橋梁詳細設計（橋梁上部工）の補正を適用する。 ただし、1径間の場合は2径間の補正に準ずる。</div> <table><tr><td>1径間</td><td>0.90</td><td>7径間</td><td>1.30</td></tr><tr><td>2径間</td><td>0.90</td><td>8径間</td><td>1.35</td></tr><tr><td>3径間</td><td>1.00</td><td>9径間</td><td>1.40</td></tr><tr><td>4径間</td><td>1.05</td><td>10径間</td><td>1.45</td></tr><tr><td>5径間</td><td>1.20</td><td>11径間</td><td>1.50</td></tr><tr><td>6径間</td><td>1.25</td><td>12径間</td><td>1.55</td></tr></table> <div>・コンクリート欠損の断面修復、ひび割れ対策（注入など）を必要とする場合に計上する。 ・耐荷力不足による部材の欠損やひび割れは、別途補強設計を講じるものとする。 ・アル骨対策検討を含む場合は別途とする。</div>								1径間	0.90	7径間	1.30	2径間	0.90	8径間	1.35	3径間	1.00	9径間	1.40	4径間	1.05	10径間	1.45	5径間	1.20	11径間	1.50	6径間	1.25	12径間	1.55
1径間	0.90	7径間	1.30																												
2径間	0.90	8径間	1.35																												
3径間	1.00	9径間	1.40																												
4径間	1.05	10径間	1.45																												
5径間	1.20	11径間	1.50																												
6径間	1.25	12径間	1.55																												
		径間数	補正係数	補正後の単価																											
		1.0	0.90																												

施工計画

1橋当り

区 分	職 種	直 接 人 件 費					小 計
		技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	
計画書作成				1.00	1.50	2.00	
合 計				1.00	1.50	2.00	
直接人件費合計							

- ・ 工程表、施工順序、施工方法、仮設備計画等、工事費積算に必要な計画書を作成する。
- ・ 複数の橋梁を計画する場合は橋梁数を乗じる。

協議打合せ

3回

1業務当り

区 分	職 種	直 接 人 件 費					小 計	
		技 師 長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)		技 術 員
業務着手時			0.50	0.50	0.50			
中間打合せ			0.50	0.50	0.50			
成果物納入時			0.50	0.50	0.50			
関係機関打合せ協議 (1機関当り)								
合 計			1.50	1.50	1.50			
直接人件費合計								

直接人件費合計